



# こどもクリニックニュース

NO. 124 平成22年4月1日発行  
ともながこどもクリニック

## 4月から、保険証は毎回確認いたします。

新・加須市では4月1日から、中学3年生までのお子様が医療機関を受診された際の窓口一部負担金の支払いは、一切不要になりました。ただし「健康保険証」と「子育て支援医療費の受給資格証」の両方を、受診の都度毎回提示することが必要ですのでご注意ください。提示できない場合は、原則として診療費用の全額（10割）を一時払いしていただき、後ほど保険証・資格証を確認したうえで返金させていただくこととします。

なお、1か月間の自己負担額の合計が21,000円以上となった場合は、その月の1回目の受診分にさかのぼって一部負担金の支払いをしたうえで、加須市の子育て支援課で払い戻しの手続きをすることになっています。受診回数が多くなりそうな方はご相談ください。

加須市以外の市町村では事情が異なることと思いますが、窓口担当者の対応が混乱しないように、埼玉県内にお住まいの方に対しては、毎回の保険証の確認を行います。どうか皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 領収書のほかに「明細書」もお渡しします

医療費の透明化および患者さんへの情報提供の一環として「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行が義務付けられました。当院では以前からカルテ開示を行っていますし、領収書も項目別に分類した比較的詳細なものをお渡ししていますので、今回の明細書発行の有用性は低いと思われませんが、全国共通の規則ですので合わせてお渡しします。薬剤情報の提供も続けますので、毎回3～4枚の書類をお渡しすることになります。多いですね。



## 院長の予定（2010年5月まで）

4月	14日	(水)	2才健診	保健センター
5月	7日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	11日	(火)	MR3期	西中
	26日	(水)	内科健診	水深小

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。なお水曜日は一日休診ですので診療には影響ありません。

## 休診の予定

4月16日(金)、17日(土)  
8月18日(水)～25日(水)

## 水曜日は「一日休診」です！

平成21年4月1日より、毎週水曜日は一日休診となりました。その代わり、一部の祝日の午前中に診療しています。

## 8月までの当院の祝日診療は下記のとおりです。

4月 29日 (木) 昭和の日  
5月 5日 (水) こどもの日  
7月 19日 (月) 海の日

診療時間は9:00～12:00です。

## 「ともながこどもクリニック・診療カレンダー」

半年分の診療の予定一覧をカレンダーにして受付窓口および玄関下駄箱の上に置いてあります。自由にお持ち帰りください。ただいま3月から8月までのカレンダーを提供しています。

## 感染症の情報

胃腸炎（嘔吐・下痢・発熱）が流行していますが、重症の脱水状態で点滴や入院を要する方は少ないです。

3月には水痘と流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の患者さんが多かったです。この二つの病気は潜伏期間（感染してから発病するまでの時間）が2週間ほどと長いので、春休みの期間だけでは流行が止まらない可能性が高いです。まだかかったことがない方はぜひワクチン接種をご検討ください。

インフルエンザの患者さんはほとんど見かけなくなっていました。

## ワクチン情報いろいろ

### 「日本脳炎ワクチン」

ワクチンの変更問題で、おおよそ5年にわたり積極的な接種勧奨が控えられていました。もうすぐ3歳児に対する1期接種ならびに、基礎免疫が完了している小学4年生への2期接種の勧奨が再開される予定らしいです。内情を含めて、もう少し分かりやすく言うと・・・

「新しい製造方法の日本脳炎ワクチンが、やっとある程度の量を製造・備蓄できたので、子どもたちへの接種を大々的に再開しましょう。でも実質的に中断して丸5年が過ぎ、全く接種していない子供が多すぎるため、全員の分のワクチンはまだまだ足りません。

そこでまず、標準的な接種開始年齢にあたる、3歳のお子様たちの第1期接種（合計3回）を開始しましょう。それと、5年以上前に第1期接種を完了したお子様が今年、小学校4年生になりますので、この方々への第2期接種（1回）も実施しましょう。

4歳以上で上記の対象とならない方にはもう少し待ってもらい、ワクチンの供給量がさらに増えた時点で接種を勧めましょう。でも接種を強く希望される方には接種しても良いことにします。」

・・・と、厚生労働省は考えているはずですが、最終的な決定内容につきましては、実務責任者である各市町村からの連絡をお待ちください。

### 「小児用・肺炎球菌ワクチン」

新発売のワクチンです。当院でも3月から接種を開始しています。

「肺炎球菌」という菌は、その名の通り重い肺炎を起こすことがあるので付けられた名前ですが、それ以外にも乳幼児の細菌性髄膜炎の原因として恐れられていますし、副鼻腔炎（いわゆる蓄膿症）や中耳炎を引き起こすことがあります。肺炎球菌ワクチンはこれらの病気の予防に役立ちます。

標準の接種は、生後2～6ヶ月の間に開始し、4週間以上の間隔でまず3回接種します。追加接種は、1歳以降に（かつ3回目の接種から60日以上空けて）1回の合計4回接種します。

接種開始年齢が生後7～11カ月の場合は、2回+追加接種の合計3回。開始が1歳の場合は1回+追加接種の合計2回。開始年齢が2歳～9歳の場合は1回のみ接種となります。

当院の接種費用は、1回9,500円。標準の4回接種では合計38,000円となります。（医療機関によって異なります）。

### 「ヒブ (Hib) ワクチン」

ヒブ (Hib) ワクチンは1年半ほど前に発売され、次第に周知されてきましたが、相変わらずワクチン不足の状態が続いています。ただ製薬会社は増産体制をとっており、今年末くらいにはかなり充足されるようです。

小児、とりわけ乳幼児の細菌性髄膜炎の原因の6割くらいがヒブ (Hib) によるもので、次に多いのが前記の肺炎球菌です。この二つの菌が、乳幼児の細菌性髄膜炎の8～9割くらいを占めています。

この2種類のワクチンは任意接種（有料）のため経済的な負担がありますが、可能であれば是非接種していただきたいワクチンです。先進諸国では、公費接種として実施しているところが多く、わが国でも早くそうなることを願うばかりです。

### 「MR ワクチン」

幼稚園や保育園の年長さんになった方は、麻しん風しん混合ワクチン（MR ワクチン）の2期接種を早目にはじめましょう。またこの春に中学1年生と高校3年生になった方はそれぞれ、MR ワクチンの3期、4期の公費接種ができます。旧加須市の中学生は集団接種で行われますが、それ以外の方は個別接種です。体調の良い時に早めに接種されることをおすすめします。

もちろん、1歳になったらMR 1期接種を最優先で受けてください。



こどもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付けでお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともながこどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150